入選作品

見守りかぼちゃん

ピップ株式会社

入選作品概要

背景・目的

超高齢社会および核家族化が進行しています。内閣府の発表では、全世帯の約2割が「単独」または「夫婦のみ」の高齢者世帯です。この背景から、高齢となった家族の健康状態を離れた場所からでも見守りたいというニーズが高まっています。

一方、介護施設では認知症入所者の方の離床を的確に見守りたいという課題があります。

見守り製品には、カメラを用いたものや、センサのみを用いたシステムがあります。当社は感性価値も重視した、独居高齢者の生活状況を見守る製品・サービスを提案します。

「見守りかぼちゃん」の開発

高齢者の健康を応援する「緩やかな見守り」という新しいコンセプトのもと、エージェント型ネットワークロボット（「見守りかぼちゃん」）の研究開発を進めています。

「見守りかぼちゃん」の特徴

「かぼちゃん」は、大阪市立大学大学院との共同研究により認知機能の向上や癒しをもたらす効果が確認されています。

また、開発中の「見守りかぼちゃん」は、音声認識技術を応用し、会話の内容から健康状態などの情報を取得し、家族に提供します。

生活空間に設置する各種センサの蓄積情報から、生活状況の変化を家族に知らせることができます。

介護施設では、離床センサと組み合わせることで、認知症入所者の離床予兆を検知・通報するだけでなく、入所者に離床を引き止める声掛けをします。

今後の展開

高齢化社会における高齢者世帯への見守りの要望、介護分野における人手不足の対処といった状況は、日本だけでなく多くの国々で発生してくる課題でもあり、見守りロボットやコミュニケーションロボットの需要は世界的にますます高まると考えます。

現在、当社ではロボットの効果を確認するため、実証試験を進めていますが、順次国際版の製品も上市していきたいと考えています。

Corporate profile

ピップ株式会社

ピップ株式会社
新規事業部 事業開発課 課長 荻久保寛紀
TEL：06-7663-7853

【 事業内容 】
医療衛生用品、ベビー用品などの卸・販売
ピップエレキバンなどの自社開発商品の製造・販売
ロボット介護機器の開発・販売

審査員からの講評

癒し系の会話を行うロボットは例があるが、開発中のロボットは高齢者向け見守り機能を有する点は、これまで商品化されなかった分野であり評価でき、非常に社会的意義の高い研究開発である。